

Performing Arts

スパイラル芸能の宴 2016

『花 方』 ～第二章「若松の宴」

日時：2016 年 4 月 29 日（金・祝）16 時 30 分開演

会場：スパイラルホール（スパイラル 3F）

——青山亭にようこそ。

見目麗しい伝承芸能の若手継承者“花方*”を作家・岩下尚史がご紹介

新緑を趣向に片岡千之助と新橋芸者衆が青山亭で舞踊を披露

*花方とは、人気あり華やかなこと、人。昔は「花方」と記したが、現在では「花形」と表記が変わった。

スパイラルは、2016 年 4 月 29 日（金・祝）にスパイラルホールで、スパイラル芸能の宴 2016 『花方』～第二章「若松の宴」を開催します。スパイラルホールを「青山亭」と称し、作家の岩下尚史が“青山亭主人”となり、日本の芸能の目利きである主人の目になつた見目麗しい若手継承者の芸を気軽にお愉しみいただける公演として、2013 年に序章、第一章を開催し、大好評を博した「花方」。本年再び、“青山亭主人”が次代の伝承芸能の世界を担う新たな俊英を「青山亭」でご紹介、芸能とトークセッションの双方向から、若き“花方”の神髄に迫ります。



青山亭主人・岩下尚史

■ それぞれの世界が創り出す伝承芸能の世界

今回は、皐月の新緑を趣向とし「若松の宴」と題し、瑞々しい日本舞踊をご覧いただきます。第 1 部では、清元「玉屋」を、浄瑠璃方・清元一太夫と三味線方・清元昂洋らが奏で、父に片岡孝太郎、祖父に十五代目片岡仁左衛門をもつ片岡千之助が踊ります。第 2 部では、新橋演舞場、初夏の風物詩「東をどり」から「東風流彩色見本」を新橋芸者の若手ながら踊りの実力派として注目を集める喜美弥、きみ鶴、寿々女の 3 名が披露します。

■ 青山亭主人・岩下尚史と俳優・八嶋智人が“花方”の本質に迫るトークセッション

本公演は 2 部構成で、第 1 部、第 2 部、それぞれの演目の後には、俳優の八嶋智人が進行役、青山亭主人の岩下尚史が聞き役となり、出演者によるトークセッションを行ないます。伝承芸能に初めて触れる方にも、すでに慣れ親しんだ方にも、より関心を持っていただけるよう、今回の公演の作品についてや、芸の成り立ち、若くして芸道の世界に身を置き、そこで生きていくと決めたその決意など、それぞれの想いを語っていただきます。

ぜひこの機会に、取材・掲載のご検討くださいますようお願い申し上げます。

■取材に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

スパイラル／株式会社ワコールアートセンター 広報部 瀧本恵理
TEL 03-3498-5605 FAX 03-3498-7848 〒107-0062 東京都港区南青山 5-6-23
E-mail press@spiral.co.jp http://www.spiral.co.jp

spiral®

演目

【振付・監修 尾上菊之丞】

第一部〔舞踊〕清元「玉屋」^{たまや}

立方：片岡千之助／浄瑠璃：清元一太夫、清元國恵太夫／三味線：清元昂洋、清元美十郎

〔トークセッション〕

出演：片岡千之助、清元昂洋、清元一太夫／進行：八嶋智人、主人：岩下尚史

第二部〔舞踊〕東をどり「東風流彩色見本」^{あづまごのみこいのひながた}

立方：喜美弥、きみ鶴、寿々女／演奏：多賀子、照代、由良子

〔トークセッション〕

出演：喜美弥、きみ鶴、寿々女、多賀子、照代、由良子／進行：八嶋智人、主人：岩下尚史

青山亭主人プロフィール



岩下尚史（いわした ひさふみ） 作家

新橋演舞場株式会社が在職中、企画室長として劇場創設の母体である新橋花柳界主催「東をどり」の制作に携わる。2007年処女作『芸者論』で新人としては異例の第20回和辻哲郎文化賞を受賞。これを機に、本格的な作家としての活動を開始。三島由紀夫にまつわる実話をモチーフに書き下ろした小説『見出された恋』『ヒタメン』など話題作を発表している。また、日本人の古典的な暮らしや伝承芸能について分かりやすく解説することができる稀有な存在として講演会のみならず、テレビ番組の出演など様々な場で活躍をしている。

開催概要

スパイラル芸能の宴 2016 『花 方』 ～第二章「若松の宴」

会 期 2016年4月29日（金・祝） 16時30分開演（開場は開演の30分前）

会 場 スパイラルホール（スパイラル3F） 東京都港区南青山5-6-23

チケット料金 前売3,500円／当日4,000円

チケット発売開始日 2016年3月19日（土）

チケット取扱い 【web予約・電話予約】カンフェティチケットセンター

web：<http://www.confetti-web.com> 電話：0120-240-540（平日10:00-18:00）

【店頭販売】MINA-TO（スパイラル1F）

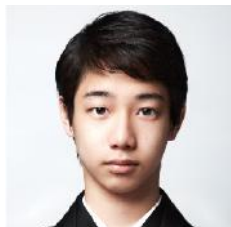
お問い合わせ先 03-3498-1171（スパイラル代表）

主 催 株式会社ワコールアートセンター

企画協力 シス・カンパニー

企画制作 スパイラル

出演者プロフィール



片岡千之助 (かたおか せんのすけ) 歌舞伎俳優

2000 年生まれ。屋号は松嶋屋。父は片岡孝太郎、祖父は十五代目片岡仁左衛門。歌舞伎座『松栄祝嶋台』の若鷺千吉で片岡千之助を名のり 4 歳で初舞台、年齢を感じさせないしっかりとした科白廻しと可愛い愛嬌で人気者となった。2011 年、2014 年戦後初の祖父と孫との『連獅子』では、子獅子を見事に踊り抜いた。2015 年自身の「千之会」も 3 回目を数え、同年 11 月には歌舞伎座にて『元禄忠臣蔵』を祖父仁左衛門の大石内蔵助を相手に大石主税を務めた。現在、青山学院高等部在学中。



清元昂洋 (きよもと たかひろ) 清元三味線

1984 年生まれ。清元宗家七世家元 清元延寿太夫の長男。曾祖父は六代目尾上菊五郎、母方の祖父には俳優 鶴田浩二、弟に歌舞伎俳優 尾上右近。1994 年清元延古庵に入門、同年新橋演舞場「延寿会」にて浄瑠璃初舞台。1995 年より清元美治郎師より手ほどきを受け、三味線方として修業を始め、1998 年歌舞伎座「延寿会」にて三味線方として初舞台。2001 年清元昂洋を名のり社中となり、同年新橋演舞場『仮名手本忠臣蔵』道行旅路の花智 (落人) でプロデビュー。以降、歌舞伎公演、日本舞踊公演、演奏会などに精力的に出演し、2009 年から自身の「清道會」を主宰する。



清元一太夫 (きよもと いちたゆう) 清元浄瑠璃

1983 年生まれ、東京藝術大学卒業。父は清元志寿子太夫、祖父は人間国宝・芸術院会員 清元栄三郎。曾祖父は人間国宝・芸術院会員 清元志寿太夫。1985 年より清元延香に手ほどきを受け、2 歳 7 ヶ月で初舞台。同時に清元志寿太夫からも教えを受ける。1989 年より清元栄三郎に師事。1995 年幼名・清元一を許され、1998 年清元一太夫を名乗り歌舞伎公演初参加。その他古曲荻江節も修め、荻江寿昇の名を許され、荻江節唄方も務める。清元節浄瑠璃方、古曲荻江節唄方として歌舞伎公演、海外公演、日本舞踊公演、NHKテレビ・ラジオに出演。



喜美弥 (きみや)、きみ鶴 (きみづる)、寿々女 (すずめ) 新橋芸者

新橋の花街が生まれたのは幕末の頃。後に明治政府を樹立する薩長土肥の志士たちの多くが新橋の馴染客だった。そうした顧客の後押しもあり新橋の花街は、明治維新後、我が国最高峰の社交場と称されるほどの発展を遂げ、現在に至る。今回出演の 3 名は、若手ながら踊りの実力派として次世代を担う力量を備える。「東をどり」の舞台でも注目を集める 3 名が新橋芸者衆の芸の神髄を披露する。

「第 92 回東をどり」本年 5 月 19 日 (木) ～22 日 (日) 新橋演舞場にて開催
<http://www.azuma-odori.jp/>



八嶋智人 (やしま のりと) 俳優

1970 年奈良県生まれ。1990 年に劇団カムカムミニキーナを松村武らと旗揚げ。以降、主要メンバーとして活躍中。劇団公演以外の外部出演も多く、栗山民也、三谷幸喜、ケラリーノ・サンドロヴィッチ、長塚圭史等の演出作品でも演技力と存在感を発揮。個性的で親しみやすいキャラクターで人気を集め、多くのテレビドラマ、映画、CM、バラエティ番組などで好評を博している。また、司会やナレーション、ラジオパーソナリティーとしても活躍中。

参考資料 以前の「花方」公演の様子

撮影：岡本隆史

『花方』～序章「花の宴」(2013年3月開催)



花：奥平清祥



舞踊：尾上菊之丞



浄瑠璃：都了中

『花方』～第一章「星逢いの宴」(2013年7月開催)



花：笹岡隆甫



舞踊：舞踊集団 菊の会

トークセッションの様子



青山亭主人・岩下尚史



『花方』～第一章「星逢いの宴」トークセッションの様子

NEWS

スパイラル 1F にチケット販売カウンターが OPEN!

スパイラルでの公演チケットを始め、誰もが「その場で・気軽に・お得に」公演チケットを購入できるチケットカウンターが、スパイラル 1F に 2016 年 3 月 19 日にオープンするコミュニケーションスペース「MINA-TO (みなと)」に設置されます。スパイラルでの公演の他、伝承芸能やダンスなどを中心に、当日券・前売券を毎日 20 公演ほど厳選して販売する Tickets Today によるチケット購入も可能となります。この機会にぜひ「MINA-TO」にもお立ち寄りください。